

Friendly Awara

第25次あわら市日中友好親善少年使節団派遣



紹興市文理学院附属中学校にて



齊藤会長

～ごあいさつ～

はじめに、この度の東北地方太平洋沖地震により被災されました皆様に心からお見舞いを申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興をお祈りいたします。

また、4月には魯迅先生のご息であります周海嬰氏の突然の訃報が届きました。心からご冥福をお祈りしたいと思います。

さて、会員の皆様におかれましては、当協会の活動にいろいろとご協力いただき誠にありがとうございますとございます。

あわら市と紹興市の友好交流は、旧芦原町時代も含め28年目を迎えますが、昨年は紹興市文理学院附属中学校の子供たちが5年ぶりにあわら市を訪れ、また芦原中学校の子供たちが日中友好親善少年使節団として第25回目の紹興市訪問を行い、次世代を担う子供たち間での交流が深められたところです。

また、7月には、紹興市が建城2500周年を迎えることから、橋本市長、丸谷市議会議長、齊藤副会長とともに紹興市で開催されたお祝いの式典に参加し、紹興市の想像もつかないほどの長い歴史を肌で感じて参りました。

再来年の平成25年度には、紹興市との友好都市締結30周年という節目の年を迎えることとなりますが、紹興市との申し合わせにより、その式典があわら市で開催されることになっていることから、その記念すべき年に向けて準備を進めて参りたいと考えております。

会員の皆様には、交流が始まってから長い年月が経過しましたが、藤野巖九郎先生と中国の偉大な文豪魯迅の師弟愛を機縁に始まったこの交流を育み、次の世代に引き継いでいきたいと考えておりますので、皆様の一層のご協力をお願い申し上げます。

～中国見聞録～ 【特集】

第25次あわらし日中友好親善少年使節団

第25次の節目となるあわらし日中友好親善少年使節団一行16名が、安田典子教育委員会委員を団長として11月29日から6日間の日程で紹興市を訪れました。帰国後、子供たちは次のような感想を述べています。

「中国見聞録友好の絆」より

中国文化に触れて Y・Dさん

中国の地でまず思ったのは、人や車が日本とは比べ物にならないくらい多いということです。中国は人口の多い国だとは認識していましたが、いざ目の前にするとやはり衝撃でした。でも、一番衝撃を受けたのは、紹興市文理学院附属中学校に着いた時、附中の生徒達が大勢教室の窓から身を乗り出していたり、校門のところで並んで歌っていてくれたりして、文字通りの「熱烈歓迎」をしてくれたことです。僕は、そこで中国の「人のエネルギー」を感じました。でも、授業風景は日本とそれほど変わらず、少し距離を感じていた中国の人達に親近感がわきました。



紹興文理学院附属中学校訪問

日中の輪 ～ホームステイを通して～ T・Oさん



ホームステイ先の生徒と記念写真

僕たちは、当時問題になっていた尖閣諸島のことや日清戦争のこと、中国の料理が脂っこいことについて話し合った。中国の人は、尖閣諸島を自分たちの島と思っているらしかった。僕は、日本人も自分たちの島だと言った。これが、両国が対決していた訳なのだとなかった。お互いが自分たちの島と思っているから、なかなかこの問題が解決しない。僕たちはこのような結論にたどり着いた。



ホームステイ先の生徒と記念写真

忘れられない一週間

..... Y・Sさん

楽しみであり不安でもあった夕食の時間がやってきました。その時、ご飯茶碗にオレンジジュースを注いでいること、魚の骨を口からお皿に直接出していることに衝撃を受けました。ホストファミリーの皆は本当に親切で「もっと食べて」とたくさん料理を勧めてくれまし

た。しかし私はお腹がいっぱいになったので「ツーパーオラ（満腹です）」と伝えたら理解してくれたので、言って良かったなと思ったし、言葉が通じるって嬉しいなと感じることが出来ました。

日中友好少年使節団に参加して H・Oさん

今、中国は日本を抜き世界2位の経済大国になりました。でも経済が発展しても、忘れてはいけないのは、いつの時代も藤野先生と魯迅先生のような深い友情だと思います。将来、日本と中国がさらに、深い友好関係を築き、また中国の地を訪れることができると良いです。そして、中国で出来た友達にまた会いたいです。



魯迅故里（紹興市）

～友好の絆～

第2回金津高等学校日中友好姉妹校訪問団より

第2回となる金津高等学校日中友好姉妹校訪問団が、酒井重夫教頭先生を団長として紹興市を訪問しました。中国においては、魯迅が全国の小学校で必ず学ぶ人物であり、魯迅の偉大さを知らない国民はいないと言われてています。その偉大な魯迅が日本留学中に師と仰いだのが、あわら市出身の藤野巖九郎先生であります。日中間の歴史を辿ると、中国に日本人の像



魯迅記念館にて



魯迅中学校にて

が建つということは希であります。今回の訪問で、紹興と北京の記念館・博物館で藤野先生の像を目にしたとき、改めて藤野先生の偉大さと郷土の誇りであることを実感しました。あわら市と紹興市の友好関係は、紹興市側からの挨拶にもあったように時代を超えて引き継がれていかななくてはならないものです。

紹興市建城2500周年

7月15日に紹興市で紹興市建城2500周年記念式典が盛大に開催され、それに併せて世界合唱コンクールが行われました。あわら市から、橋本達也市長、丸谷浩二市議会議員、齊藤愛夫会長、齊藤貞夫副会長が出席いたしました。同じように友好都市関係にある都市の人々が世界中から集まり国際色豊かな式典となりました。



巖九郎記念館から



リュウ トウレン
記念館職員 劉 冬蓮さん

記念館の職員になって2年目になります。現在、記念館は移築が進められているため休館中です。これからも藤野巖九郎先生や魯迅に関する資料の展示、保管などに努め、日本と中国、あわら市と紹興市の友好交流に寄与できればと思っています。また、藤野巖九郎記念館に来られる国内外の方々を温かく迎え、ご案内いたしたいと思います。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

来館者数 平成22年度総数
累計

1,245名 (内中国の方 356名)
37,648名 (内中国の方 4,618名)

〈平成22年度の主な交流内容〉

平成22年

- 5月6日 紹興市友好訪問団一行5名来市(～12日)
- 5月13日 あわら市日本中国友好協会総会開催(文化会館)
- 6月12日 NPO法人福井県日本中国友好協会 通常総会出席(福井県青年館)
- 7月14日 紹興市建城2500周年記念式典へ出席(紹興市 ～16日)
- 8月16日 紹興市文理学院附属中学校訪問団一行16名来市(～18日)
- 10月14日 西宮市・紹興市友好都市提携25周年記念祝賀会出席(西宮市)
- 11月29日 第25次あわら市日中友好親善少年使節団派遣
(団長 安田典子教育委員 一行16名 ～12月4日)
- 第2次福井県立金津高等学校日中友好使節団派遣
(団長 酒井重夫教頭 一行8名 ～12月4日)

平成23年

- 1月18日 日中友好協会創立60周年・福井県日中友好協会 NPO法人化5周年記念2011年年賀会参加
(福井県青年館)
- 2月15日 北陸3県日中友好協会会議出席(文化会館)
馬興無中華人民共和国駐名古屋総領事館領事他4名藤野巖九郎記念館来館

編集後記 旧芦原町時代から始まった紹興市との友好都市関係も平成25年度には30周年という節目の年を迎えることとなります。両市の友好関係がこれからも続くことを心から願っております。